

■日夏歌之介 詩人、評論家。重厚で幻想的な処女詩集「転身の頰」で登場、日本初の体系的詩史「明治大正詩史」を遺した。

ひなつこうのすけ

帝国議会始・1890＝ 長野県飯田で、樋口藤治郎・以志の長男に生まれる。母方の親戚に松尾多勢子。

日清戦争始・1894＝ 4歳：

飯田尋常小学校に入学、

Bushidou・・1899＝ 9歳：

文学・歴史を好む一方、天文学や植物学にも関心を抱いて、

日比谷公園・1903＝13歳：卒業。県立飯田中学に入学するも、中退し、

日露戦争始・1904＝14歳：上京して、東洋大学付属京北中学に入るが、神経衰弱となり、

日露戦争終・1905＝15歳：

満鉄発足・・1906＝16歳：2年休学した後、退学。

アヲヲ創刊・ 1908＝18歳：早稲田高等予科に入学、

早稲田大学文学部英文科に進み、在学中から詩作を始め、

明治天皇没・1912＝22歳：西条八十らと「聖杯」(翌年「仮面」)と改題)を創刊し、大正期の象徴派新人として詩壇に登場、

第一次大戦始1914＝24歳：卒業。

病弱を克服しつつ、

ロシア革命・1917＝27歳：*重厚で幻想的な詩風(ゴシック・ロマン体として有名)の「転身の頰」で注目を浴びる。

原敬首相暗殺1921＝31歳：第2詩集「黒衣聖母」で詩風を確立、

水平社結成・1922＝32歳：母校早大の講師となって、英文学の講義を始め、キーツをはじめとする英文学の造詣も深める。

護憲三派圧勝1924＝34歳：結婚。

円本時代始・1926＝36歳：

世界恐慌・・1929＝39歳：「明治大正詩史」(初版)は齒に衣させぬ手きびしい詩史の書として有名。

満州事変・・1931＝41歳：早稲田大学文学部教授に就任。

国際連盟脱退1933＝43歳：*「咒文」で詩業は終結、

芥川直木賞始1935＝45歳：早大を辞任。

日中戦争始・1937＝47歳：

第二次大戦始1939＝49歳：論文「美の司祭」で、文学博士となり、再び、早大教授となる。

日米開戦・・1941＝51歳：

戦時中は、疎開のため、しばしば帰郷、

年金+総武装 1944＝54歳：かたわら「鷗外文学」、

敗戦・・・1945＝55歳：<敗戦>で、早大教授を退職し、

三大事件・・1949＝59歳：*「改訂増補明治大正詩史」で、第1回読売文学賞。

朝鮮戦争始・1950＝60歳：「荷風文学」「谷崎文学」などの評論活動も精力的に見せ、

独立回復・・1951＝61歳：「日本現代詩大系」で、毎日出版文化賞。

メデー事件・1952＝62歳：青山学院大学教授に就任。「明治浪漫文学史」「日夏歌之介全集」で、日本芸術院賞。

テレビ放送始・1953＝63歳：第1回飯田市名誉市民。

国連加盟・・1956＝66歳：*脳溢血で倒れ、飯田に帰郷、新居を構えて、以後、療養生活を送り、

安保闘争・・1960＝70歳：

たいたい病始・1961＝71歳：青山学院大学教授を辞任。

全国総合計画1962＝72歳：

トルシヨク・・1971＝81歳：没した。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、インターネット、